

## ごあいさつ

このたびは追手門学院大学附属図書館『宮本輝ミュージアム』にご来場いただき、誠にありがとうございます。2010年秋の企画展は、現在本学にて国際交流推進年(2009年～2011年)を実施していることにちなみ、日本人家族と留学生の交流を描いた作品「彗星物語」をテーマに開催します。

「彗星物語」(1992年 角川書店刊)に登場する留学生ポラーニ・ボラージュは、宮本輝が取材旅行で1982年に訪欧した際に、ハンガリーで出逢った通訳の青年がモデルとなっています。彼は翌年留学生として来日し、実際に宮本家で3年間を過ごしました。

共に生活する中で起こる異文化衝突の数々。それらを乗り越えて一家と留学生は、それぞれ少しずつ成長していきます。最近では希薄になりがちな家族の絆が、笑いあり涙ありのストーリーに乗せて温かく描かれています。

この企画展では、小説の世界の紹介とともに、「家族」に焦点を当てた展示も行っております。皆様に「彗星物語」の世界をより深く味わっていただければ幸いです。

今回の企画展に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。関係各位の多大なるご協力に感謝し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

宮本輝ミュージアム  
(文中敬称略)